



大鋸の丘

2023（令和5）年3月1日

藤沢市立大鋸小学校

校長 山崎 晋治



1年間ありがとうございました。

暦も3月になり、今年度も残すところあとわずかになりました。この1年も、コロナ禍での学校生活でしたが、様々な学習や行事の中で、子どもたちの成長を感じられた1年でした。2月の各学年の授業参観では、学年に応じた工夫が見られ、保護者の皆様にも、子ども達の成長を感じることができた発表となったのではないのでしょうか。1年前の子どもたちを思い出してみてください。1年生は、まだ小学校入学前で、ピッカピカの1年生に向けて準備を進めていたところだと思います。6年生は、もうすぐ自分たちが最上級生だと期待に胸を膨らませながらも、5年生としてまだまだ幼さの残る一面もあったのではないのでしょうか。心も体も、子どもの1年の成長は、本当に大きいものだと思います。

この1年間、保護者の皆様には、多くのご協力とご理解をいただいたことに、心から感謝いたします。3月の登校日はあとわずかですが、新年度、笑顔でスタートできるよう、職員一同で支援・指導にあたっていきたいと思います。1年間、ありがとうございました。

西富歩道橋・緑が丘歩道橋の改修工事について

神奈川県藤沢土木事務所より、歩道橋改修工事の連絡がありました。詳細につきましては、後日、県からのお手紙を配付いたします。緑が丘歩道橋は、通行止め期間は夏休みを予定しているのですが、西富歩道橋については、4月1日から1学期の間、通行止め期間になります。そのため、その期間中、西富歩道橋を渡って登下校している児童につきましては、一度、横断歩道を渡って交番側に行き、遊行寺坂上交番前の横断歩道を渡って、中古車屋さんの方へ向かう通学路といたします。通学時間帯のガードマンさんの誘導をお願いしておりますが、気をつけて渡るよう、ご家庭でもお話しいただければと思います。

1年間子ども達の見守りをありがとうございました。

この1年間、事故や事件など心配なニュースもあった中、多くの方々に子ども達の見守りをいただきました。スクールガードリーダーさん、おはようボランティアの皆様、大鋸東町パトロール隊の皆様、村岡挨拶運動で定期的に登下校時の見守りをしてくださった皆様、近隣の皆様、この一年間、本当にありがとうございました。コロナ禍により、直接ご来校いただく機会はあまりありませんでしたが、今後も、よろしくお願いいたします。

【学校教育目標】 「自らの体験を通して 伸びようとする子どもの育成」

【めざす子どもの姿】 元気な子 よく考える子 ねばり強い子 思いやりのある子

《今年度スローガン》 “笑顔の輪”をひろげよう 大鋸小

3月行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水	M 1・2年お話し会	17	金	第42回卒業式（1年～5年休業日）
2	木	SC FLT	18	土	遊びの広場（AM）
3	金	M 3年文化財講座	19	日	
4	土	遊びの広場（AM）	20	月	
5	日		21	火	春分の日
6	月	M FLT おはボラ連絡会	22	水	M
7	火		23	木	SC
8	水	M 3・4年お話し会	24	金	修了式・離任式
9	木	SC PTA運営委員会	25	土	春休み（3/25～4/5）
10	金	M FLT	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月	M FLT	29	水	
14	火	SC	30	木	
15	水	給食終了 卒業式予行練習	31	金	
16	木	SC お別れ式 56年引き継ぎ式	1	土	

※ M…モジュール授業、 SC…スクールカウンセラー来校日 FLT…外国語指導講師

4月の主な行事予定

- ・ 4 / 6（木）始業式・着任式・入学式
- ・ 4 / 11（火）2年～6年給食開始
- ・ 4 / 18（火）6年生全国学力学習状況調査
- ・ 4 / 20（木）1年生給食開始
- ・ 4 / 26（水）委員会活動

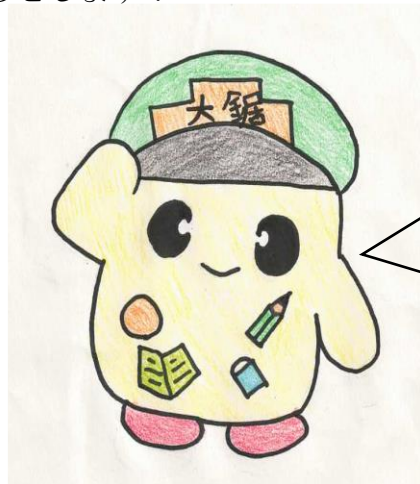
※懇談会や健康診断関係の日程につきましては、今後のガイドラインがどのようになるかにもよりますので、まだ確定しておりません。見通しがたちだい、お知らせいたします。

戸塚区東俣野町での事件について

先日、戸塚区東俣野での事件について連絡メールを流しましたが、まだ犯人逮捕の情報は確認できておりません。公民館に青パトでのパトロールの強化をお願いし、防犯協会との連携を図っていただいているところです。また、警察にも確認したところ、パトカーでの巡回を強化しているとの回答をいただきました。引き続き、ご家庭でも放課後の過ごし方などについてお話しいただければと思います。

大鋸ゆるキャラ発表！！

遅くなってしまいましたが、結果をお知らせします！



大鋸まるです！

かわいく、親しみやすい雰囲気が、大鋸の子ども達のイメージにぴったりです。これから、いろいろなところで活躍してくれると思います。

2022年度 よりよい学校づくりのためのアンケート結果と考察

今年度も、3年生・5年生の児童と保護者、教職員を対象に、よりよい学校づくりのための学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご回答いただきありがとうございます。昨年度に引き続き、今年度も、WEBでのアンケートを実施いたしました（ご希望の方には紙面で実施しました）。回答率は、どちらの学年も約80%でした。来年度も実施することになると思いますので、是非、多くの保護者の皆様のご意見を伺いたく、来年度の3年生・5年生の保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

今年度もコロナ禍での学校生活ではありましたが、コロナ前の生活を少しずつ取り戻してきた感があります。地域行事等も、形を変えて行われるようになってきました。しかし、完全にコロナ前の生活に戻ったわけではありません。そのような中、子どもたちや保護者の皆様が、学校生活をどのように感じ、どのように捉えているのかについて、このアンケート結果を受けてしっかりと振り返り、今後の教育活動に生かしてまいります。

【児童アンケートの結果より】 3年生・5年生の児童を対象にアンケートを実施しました。

《1：そう思う 2：ほぼそう思う 3：あまり思わない 4：思わない 5：どちらとも言えないよくわからない》

質問領域等	番号	項目	学年	1	2	3	4	5
元気な子	1	学校では、友だちと元気に遊んだり勉強したりしている。	3年	84%	12%	1%	1%	3%
			5年	73%	23%	3%	1%	0%
よく考える子	2	勉強でも生活でも、よく考え、けじめのある行動をしている。	3年	56%	28%	12%	1%	3%
			5年	33%	53%	12%	1%	1%
ねばり強い子	3	できないことがあっても、あきらめずにできるまで頑張ろうとしている。	3年	69%	25%	3%	0%	2%
			5年	59%	35%	5%	1%	0%
思いやりのある子	4	誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	3年	62%	28%	5%	2%	3%
			5年	40%	52%	7%	1%	1%
生活	5	先生や友だちに、進んであいさつをしている。	3年	57%	36%	3%	3%	2%
			5年	52%	35%	10%	3%	1%
	6	係や当番(委員会)などの仕事を、進んで行っている。	3年	72%	19%	7%	2%	1%
			5年	69%	28%	2%	1%	0%
	7	学校のきまりを守っている。	3年	72%	21%	6%	1%	0%
			5年	43%	53%	4%	0%	0%
学習	8	毎日の学習は、だいたい理解できている。	3年	70%	20%	8%	0%	2%
			5年	56%	35%	6%	1%	1%
相談	9	何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる。	3年	81%	12%	3%	3%	2%
			5年	71%	22%	6%	1%	0%
	10	学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる。	3年	72%	17%	4%	3%	3%
			5年	48%	40%	7%	1%	4%
情報	11	家族に学校の様子を話している。	3年	59%	27%	8%	3%	3%
			5年	67%	20%	10%	3%	0%
安全	12	身の回りの安全について気をつけている。	3年	81%	17%	0%	0%	2%
			5年	62%	35%	3%	1%	0%

・概ねどの項目においても、1・2の評価を合わせると、8割～9割以上となり、肯定的な評価でした。

- ・項目1「学校ではともだちと元気に遊んだり勉強したりしている」という質問に、「はい」と答えている児童が約9割以上いることから、多くの児童は、日常の学校生活の中で友だちと関わりながら、活気のある学校生活を送っていたと考えられます。しかし、「あまり思わない」「思わない」と答えている児童も居るので、そのような児童に気づいていけるように努力する必要があります。
- ・項目2「よく考えはじめのある行動をしている」では、8割以上の児童が肯定的に捉えている中で、「そう思わない」と答えている児童も少なくありません。また、3年生と5年生で、1と2の割合がほぼ逆になっていることも、発達段階の違いが感じられます。5年生は、はじめということを理解した上で、しっかりと自己分析ができている現れではないのでしょうか。学習面でも生活面でも、自ら考え、判断して行動できるような指導に努める必要があると考えます。
- ・項目3「できないことがあってもあきらめずにできるまで頑張ろうとしている」、項目4「誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している」については、昨年度の結果を上回っている項目です。教師のアンケートで、「児童が最後までやり遂げられるよう継続した支援を行っている」の数値が昨年度よりも上がっていることも関係づけられます。（2021年度89%→今年度96%）学校教育目標における「めざす子どもの姿」をより意識できたことが考えられます。
- ・項目5「先生や友だちに進んであいさつをしている」では、多くの児童が「している」と答えている一方、「あまりしていない」と答えている児童も少なくありません。運営委員会児童による「あいさつ運動」などにも取り組みましたが、自分からあいさつしようとする意識の醸成が必要だと考えます。
- ・項目6「係や当番（委員会）などの仕事を、進んで行っている」については、9割以上の児童が肯定的に捉えています。3年生よりも5年生の方が高い数値を示していて、委員会活動などの児童主体の活動が、大きな役割を果たしていることが考えられます。
- ・項目7「学校のきまりを守っている」については、高い数値を示していますが、「あまり守れていない」と答えている児童もみられるので、「きまりとは何か」「なぜ、きまりを守ることが大切なのか」を考えさせるような指導が必要であると考えます。
- ・項目8「毎日の学習は、だいたい理解できている」については、児童の9割以上が肯定的に捉えています。普段の様子からも、授業に前向きに取り組む姿勢が感じられます。しかし、保護者の「子どもは学習をだいたい理解している」については、肯定的な答えが8割を下回っています。介助員や学生ボランティア等が、ティームティーチングとして教室に入りサポートすることで、基礎学力の定着を図るとともに、児童の思考を促したり、児童が困っているタイミングを見つけたり、個別への手立てにも視点をあてた指導に努めていきたいと考えます。
- ・項目9「何でも話したり、話を聞いてあげたりする友だちがいる」、項目10「学校には、いじめなどこまったときに、話を聞いてくれる先生がいる」については、どちらも9割前後の児童が、その存在を肯定的に捉えています。しかし、「あまり思わない」「思わない」と答えている児童も居るので、「困っていそうな友だちがいたら、自分から声をかけてあげよう」「学校には、担任の先生だけでなく、児童支援担当の先生やスクールカウンセラーなど、いろいろな先生がいるよ」ということを更に伝えていくとともに、教職員からも、気軽に相談できるよう声をかけていくよう努めます。また、ご家庭でも、学校の様子等について話す機会をつくってあげてください。
- ・項目11・12については、子どもと保護者の回答に差が感じられます。保護者アンケートの結果考察で述べたいと思います。

【保護者アンケートの結果】 3年生・5年生の保護者を対象にアンケートを実施しました。
《1：そう思う 2：ほぼそう思う 3：あまり思わない 4：思わない 5：どちらとも言えないよくわからない》

質問領域等	番号	項目	学年	1	2	3	4	5
教育目標・指針	1	学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している。	3年	58%	30%	10%	2%	0%
			5年	46%	42%	7%	2%	2%
生活	2	子どもは楽しく学校に行っている。	3年	26%	46%	22%	5%	2%
			5年	18%	59%	16%	4%	2%
	3	子どもは家庭や地域で、進んであいさつをしている。	3年	54%	45%	1%	0%	0%
			5年	45%	50%	5%	0%	1%
	4	子どもが食事や睡眠など、規則正しい生活をするよう促している。	3年	29%	52%	9%	4%	6%
			5年	24%	63%	4%	0%	8%
学習	5	学校は分かりやすい授業に努めている。	3年	31%	53%	10%	3%	3%
			5年	28%	54%	15%	2%	0%
	6	保護者は、子どもの家庭学習に協力している。	3年	33%	46%	16%	4%	2%
			5年	29%	56%	9%	5%	1%
	7	子どもは学習をだいたい理解している。	3年	28%	46%	17%	6%	4%
			5年	27%	52%	13%	1%	7%
相談・支援	8	学校は保護者が相談できる体制を整えている。	3年	17%	51%	13%	5%	14%
			5年	24%	49%	14%	1%	13%
	9	学校は、子どもの話をていねいに聞き、いじめ防止等に努めている。	3年	21%	57%	12%	3%	7%
			5年	19%	60%	11%	1%	9%
情報	10	学校は、適切な情報発信に努めている。	3年	43%	48%	10%	0%	0%
			5年	38%	46%	13%	2%	1%
	11	子どもから、学校の様子を聞いている。	3年	68%	31%	1%	0%	0%
			5年	63%	35%	2%	0%	0%
	12	保護者は、学校や学年からのたよりを読んでいる。	3年	41%	49%	6%	1%	4%
			5年	41%	48%	4%	2%	5%
安全	13	学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている。	3年	29%	50%	14%	3%	4%
			5年	21%	63%	11%	1%	5%

- ・項目1「学校は、教育目標や指針を分かりやすく示している」については、9割近くの肯定的な回答がみられました。保護者の皆様に直接お伝えする場面はなかなかありませんが、今後も毎月の学校だよりや大鋸小学校HPなど、機会を見つけてお示していきたいと思ひます。
- ・項目2「子どもは楽しく学校に行っている」については、児童と保護者の回答に大きな差がみられます。コロナ禍における様々な制限や行事等が、子ども達の負担に感じられていることが考えられます。また、学校と家での様子に差もあるのではないのでしょうか。学校では気づくことができない部分もありますので、何か気になることがあれば、担任までお知らせいただければと思ひます。
- ・項目3「家庭や地域で進んであいさつをしている」については、3・5年生ともに、肯定的な回答が高い数値を示しています。学校としても、地域との関わりは大切にしたいところです。今後も、続けていってほしいと思ひます。
- ・項目4「食事や睡眠など規則正しい生活をするように促している」については、昨年度よりもやや低い数値がみられました。（2021年度 3年96%、5年94%）今後も、規則正しい生活について、ご家庭でお話しいただければと思ひます。

- ・項目5「学校は分かりやすい授業に努めている」、項目7「子どもは学習をだいたい理解している」については、「あまり思わない」「思わない」との回答が一定数あることから、保護者の方の学習への関心が高いことが感じられます。学校としても、校内研究「進んで学ぶ子をめざして～学びを楽しむ授業づくり～」のテーマのもと、「チャレンジできる課題」「追求できる課題」「達成感がある」「他者とのかかわりがある」をキーワードに、よりよい授業の構築に努めています。今後もさらに励んでいきたいと思います。
- ・項目6「子どもの家庭学習に協力している」は、肯定的な回答も多く見られ、保護者の皆様に、学校からの宿題等、ご協力をいただいていることが分かります。一方、あまりご協力をいただいていないという数値も少なくありません。教え方の違いなどを気にされて、「あまり声をかけないほうがよいのではないか」という考えもあると思います。学校でも、学習支援を継続して行っていますので、保護者の皆様におかれましても、引き続きご協力いただければと思います。低学年はもちろんですが、高学年になっても、学習に取り組む際、近くで見届けてあげることはとても大切です。親子のコミュニケーションにもつながります。できているところはたくさん誉めてあげてください。また、つまずきが見えた時には、小さいうちのサポートが大切です。子どもたちにとって、保護者の方に誉められることは、とても嬉しいことですので、大きな意欲につながると思います。
- ・項目8・9「相談・支援」の領域では、全体的には、肯定的に捉えている傾向ではありますが、「あまり思わない」「思わない」と捉えている方も一定数いらっしゃいます。また、項目8については、「よくわからない」と答えている割合も、他の項目と比べると大変高くなっています。学校の相談体制については、担任だけではなく、全職員であたっています。こちらの発信不足も大きな要因と考えられますので、周知方法も含め、更に充実できるよう努めてまいります。
- ・項目10「学校は、適切な情報発信に努めている」については、肯定的な回答が比較的多くみられましたが、前述の「相談・支援体制の周知」ということとからめると、まだまだ学校も努力の余地があります。学校便り、ホームページ等の充実を、更に進めてまいります。
- ・項目11「子どもから、学校の様子を聞いている」、項目12「保護者は、学校や学年からのたよりを读んでいる」については、肯定的に捉えている方が昨年度以上にみられました。しかし、保護者の方の回答と、児童の結果（項目11）を比べると、児童の結果の方に、否定的な回答もみられます。もしかしたら、子どもたちは、もっと話を聞いてほしいことがあるのかもしれませんが。項目6の考察で、「親子のコミュニケーション」について書かせていただきました。学校からの配付物などをネタに、更にお子さんとのコミュニケーションを図ってみてはいかがでしょうか。
- ・項目13「学校は、子どもの安全・防災・防犯等、子どもの安全確保に努めている」については、肯定的な回答傾向はありますが、「あまり思わない」「思わない」と捉えている方も一定数いらっしゃいます。昨今の社会情勢においても、事故や事件など、不安な報道が目につきます。子どもの安全については、一番の心配事と思います。子ども110番の存在や「自分の身を守るためにどんなことをすればよいか」など、学校でも指導していくとともに、適切な情報発信を心がけてまいります。地域の協力も得ながら、保護者の皆様の安心につながるよう努めてまいります。

学校づくりアンケート結果と考察から 学校の自己評価（教職員アンケート結果をもとに）

- ・大きな行事等、一定の制限はありましたが、職員も工夫を凝らし、学校教育目標「自らの体験を通して伸びようとする子どもの育成」の具現化に向けて取り組んできました。子どもたちの楽しく充実した学校生活につながるよう、教科の目標とも関連付けながら、力を入れてきたところです。今後も、大きな行事だけでなく、日常の学校生活でも子どもたちが「楽しい!」「わかった!」と笑顔になれる学校づくりに取り組んでまいります。
- ・今年度のスローガン「笑顔の輪をひろげよう 大鋸小」のもと、学年間の交流や児童会活動でも、他者とのコミュニケーションを大切に活動に力を入れてきました。また、各学級においても、子どもたちのかかわりを大切に支援・指導を心がけてきました。子どもたちは、かかわりの中でよりよく成長していきます。時には、友だちと衝突してしまうこともあります。それも子どもたちの今後の成長につながると思います。そして、「ごめんね」「ありがとう」が言えることで、また、笑顔で学校生活を送ることができるようになります。まだまだ未熟な子どもたちですので、大人のかかわりが必要な部分は多々あります。今後も、教職員、保護者、地域の皆様の温かいなかかわりの中で成長していく子どもたちを目指してまいります。
- ・今年度も「おはようボランティア」や「村岡あいさつ運動」、「大鋸東町防犯部」など地域の皆様にもご協力をいただきました。気持ちのよいあいさつをする姿が見られますが、中にはあいさつできず通り過ぎてしまう子どももいます。今後も、自ら進んであいさつができる児童の育成に努めてまいります。
- ・児童のよりよい指導や支援の実現に向けては、児童支援担当教諭を中心として、複数の職員で相談して進めてまいりました。昨年12月に、文科省の「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、小中学校では8.8%の児童生徒が通常学級に在籍しているという結果が公表されました。35人学級では約3人が在籍していることになります。文科省はその背景として、教師や保護者の特別支援に関する理解が進み、今まで見過ごされてきた困難のある子どもたちにより目を向けるようになったことや、インターネットやスマートフォンが身近になったことで対面での会話が減少傾向にあること、体験活動の減少などの影響も可能性として考えられるという見解を示しました。本校の教職員のアンケートにおいても、相談に関わる項目の数値が、より高く示される傾向が見られました。一人一人を大切に、組織的な指導・支援に今後も努めてまいります。
- ・情報発信については、コロナ禍における制限の範囲内で、学校に来ていただく機会を少しでも増やせるよう努めてまいりました。また、各家庭との電話でのやりとり、また、その時々での面談など、特に意識し取り組んでまいりました。ホームページについては、節目節目での発信を心がけましたが、こちらの周知も十分ではなく、まだまだ改善の余地はあります。今後も学校だより、HP、連絡メール等、適切な情報発信に努めてまいります。
- ・昨年度から引き続き、校内研究では、「全員参加の授業」をめざし、取り組んでまいりました。学習指導要領では、「学びに向かう力」という文言が示されています。子どものやる気を引き出し、どの子も最後までやり遂げられるよう、課題の工夫に視点をあて、子どもたちの意欲を高めることのできる授業作りに努めてまいります。
- ・児童の安全確保のための訓練等、年間計画を立て、取り組んでまいりました。事件・事故、災害などはいつ起こるかわかりませんので、日頃の声かけも大切にしていきたいと思っています。